

# 発熱後、耳の赤さが残り 抗生物質を飲み続けて…



娘が38度の熱を出し、胸がゼーゼーと喋って、眠れなくなつたので病院へ。その後、3日で熱と胸の音は治まったのですが、セキ・鼻水・耳の赤さだけが残り、ずっと抗生物質を処方されています。少しずつ種類を変えて処方されてもう20日。それでも耳の赤さだけが治らなくて…。このまま飲み続けて大丈夫？

(東京都 中澤さなえ)

もありません。乳幼児は、鼻の奥と中耳をつなぐ耳管が短くて太いのです。そのため、鼻の炎症がすぐに耳に影響してしまふのです。

また、慢性副鼻腔炎を抑えるためにマクロライド系の抗生物質を使えば、効果が現われるまで2〜3カ月の長期投与をしなくてはなりません。このように、投与をある程度は継続することが必要なケースもあるのです

(最近、急性中耳炎を引き起こす菌のなか)に抗生物質の効きにくいものが増加。そのため効果がなければ、抗生物質の種類を変更して処方されることがあります。

中耳炎で聴力に影響が出るのがいちばん問題です。薬で治りが悪いようならば、鼓膜切開でウミや滲出液を抜くことも。耳鼻咽喉科に相談してみましょう。(笠井先生)



かぜの症状で、のどや気管支に炎症を起こしていたのでしよう。それが治まったあと、鼻の奥の左右にある副鼻腔が炎症を起こす副鼻腔炎(蓄のう症)が発症。それとともに、中耳で炎症が起きる急性中耳炎や、液体が溜まる滲出性中耳炎も併発したようですね。

中耳炎が長引き、抗生物質の投与が続いているのを不安に思っている様子ですが、乳幼児は一度中耳炎にかかると、鼻がグズグズしただけで、中耳炎や耳だれがぶり返し、完全な治癒まで2〜3カ月かかること



長引く中耳炎が。  
抗生物質の長期投与  
が必要なことも